

一人ひとりのスタートライン

新しい年度が始まり1か月が過ぎようとしています。昨年度末から4月当初の慌ただしい日々が落ち着き、校内には柔らかな空気が流れ始めました。朝のあいさつの声、新入生や転入生の少し緊張した表情、そして、新しい友達や先生との関わりを楽しみにしている様子など、朝の巡回をしていると子供たちの様々な姿に出会うことができます。

登校してくる子供たちの中には、新しい自分の教室に戸惑いながら向かう姿もありますが、教室に到着すると「ほっ」としたように笑顔になる様子も見られ、新しい環境の中で少しずつ安心感が育っていることを感じる毎日です。

最近では、5月に実施される運動会や体育祭に向けて、さっそく練習を開始している光景を目にしました。これからの一年間、運動会や体育祭に限らず、子供たちは様々な経験を通して大きく成長していきます。何事もうまくいくことばかりではなく、悩んだり立ち止まったりすることもあるでしょう。しかし、その経験の一つ一つが子供たちにとっては確かな力となって積み重なっていきます。

私たち教職員は、子供たち一人ひとりの小さな変化や成長を大切に見つめ、安心して挑戦できる環境を整えていきます。失敗することは恥ずかしいことではなく、むしろ成長するための糧になります。子供たちの「できた」「分かった」をたくさん引き出せるように、また、「学校が楽しい」「また明日も行きたい」と思える毎日を、たくさんつくっていきたいと考えています。

